

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2023年10月25日まで（2013年7月11日設定）	
運用方針	<p>短期ロシアルーブル債マザーファンド受益証券への投資を通じて、ロシアルーブル建ての短期公社債を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。</p> <p>マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。</p> <p>デュレーション調整等のため、債券先物取引等を利用する場合があります。</p> <p>実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>	
主要運用対象	ベビーフンド	短期ロシアルーブル債マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	ロシアルーブル建ての短期公社債を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーフンド	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	<p>経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。なお、第2計算期末までの間は、収益の分配は行いません。</p>	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

短期ロシアルーブル債オープン （毎月分配型）



第77期（決算日：2019年11月25日）
 第78期（決算日：2019年12月25日）
 第79期（決算日：2020年1月27日）
 第80期（決算日：2020年2月25日）
 第81期（決算日：2020年3月25日）
 第82期（決算日：2020年4月27日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「短期ロシアルーブル債オープン（毎月分配型）」は、去る4月27日に第82期の決算を行いましたので、法令に基づいて第77期～第82期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、
 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近30期の運用実績

決算期	基 準 価 額 (分配落)	税 分 込 配		期 騰 落		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		円	円	円	%			
53期(2017年11月27日)	6,446		30	△	2.5	93.8	—	1,345
54期(2017年12月25日)	6,576		30		2.5	90.5	—	1,290
55期(2018年1月25日)	6,584		30		0.6	93.1	—	1,287
56期(2018年2月26日)	6,488		30	△	1.0	94.4	—	1,291
57期(2018年3月26日)	6,290		30	△	2.6	94.9	—	1,260
58期(2018年4月25日)	6,016		30	△	3.9	91.8	—	1,272
59期(2018年5月25日)	6,004		30		0.3	93.8	—	1,189
60期(2018年6月25日)	5,840		30	△	2.2	95.5	—	1,157
61期(2018年7月25日)	5,931		30		2.1	95.1	—	1,163
62期(2018年8月27日)	5,516		30	△	6.5	94.3	—	1,134
63期(2018年9月25日)	5,710		30		4.1	92.6	—	1,119
64期(2018年10月25日)	5,701		30		0.4	94.1	—	1,091
65期(2018年11月26日)	5,668		30	△	0.1	94.1	—	1,067
66期(2018年12月25日)	5,335		30	△	5.3	93.0	—	996
67期(2019年1月25日)	5,575		30		5.1	93.3	—	1,040
68期(2019年2月25日)	5,648		30		1.8	95.6	—	1,057
69期(2019年3月25日)	5,720		30		1.8	95.6	—	1,052
70期(2019年4月25日)	5,847		30		2.7	95.0	—	1,093
71期(2019年5月27日)	5,708		30	△	1.9	94.2	—	1,058
72期(2019年6月25日)	5,790		30		2.0	95.5	—	1,070
73期(2019年7月25日)	5,775		30		0.3	95.3	—	1,069
74期(2019年8月26日)	5,376		30	△	6.4	93.6	—	996
75期(2019年9月25日)	5,659		30		5.8	95.7	—	1,045
76期(2019年10月25日)	5,808		30		3.2	94.8	—	1,039
77期(2019年11月25日)	5,824		30		0.8	95.2	—	1,019
78期(2019年12月25日)	6,060		30		4.6	91.4	—	976
79期(2020年1月27日)	6,007		30	△	0.4	93.9	—	946
80期(2020年2月25日)	5,851		30	△	2.1	94.5	—	915
81期(2020年3月25日)	4,825		30	△	17.0	93.5	—	758
82期(2020年4月27日)	4,958		30		3.4	92.6	—	782

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
第77期	(期 首) 2019年10月25日	円 5,808		% —	% 94.8		% —
	10月末	5,857		0.8	94.5		—
	(期 末) 2019年11月25日	5,854		0.8	95.2		—
第78期	(期 首) 2019年11月25日	5,824		—	95.2		—
	11月末	5,858		0.6	95.1		—
	(期 末) 2019年12月25日	6,090		4.6	91.4		—
第79期	(期 首) 2019年12月25日	6,060		—	91.4		—
	12月末	6,068		0.1	91.2		—
	(期 末) 2020年1月27日	6,037		△ 0.4	93.9		—
第80期	(期 首) 2020年1月27日	6,007		—	93.9		—
	1月末	5,920		△ 1.4	93.5		—
	(期 末) 2020年2月25日	5,881		△ 2.1	94.5		—
第81期	(期 首) 2020年2月25日	5,851		—	94.5		—
	2月末	5,671		△ 3.1	94.5		—
	(期 末) 2020年3月25日	4,855		△17.0	93.5		—
第82期	(期 首) 2020年3月25日	4,825		—	93.5		—
	3月末	4,665		△ 3.3	93.1		—
	(期 末) 2020年4月27日	4,988		3.4	92.6		—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

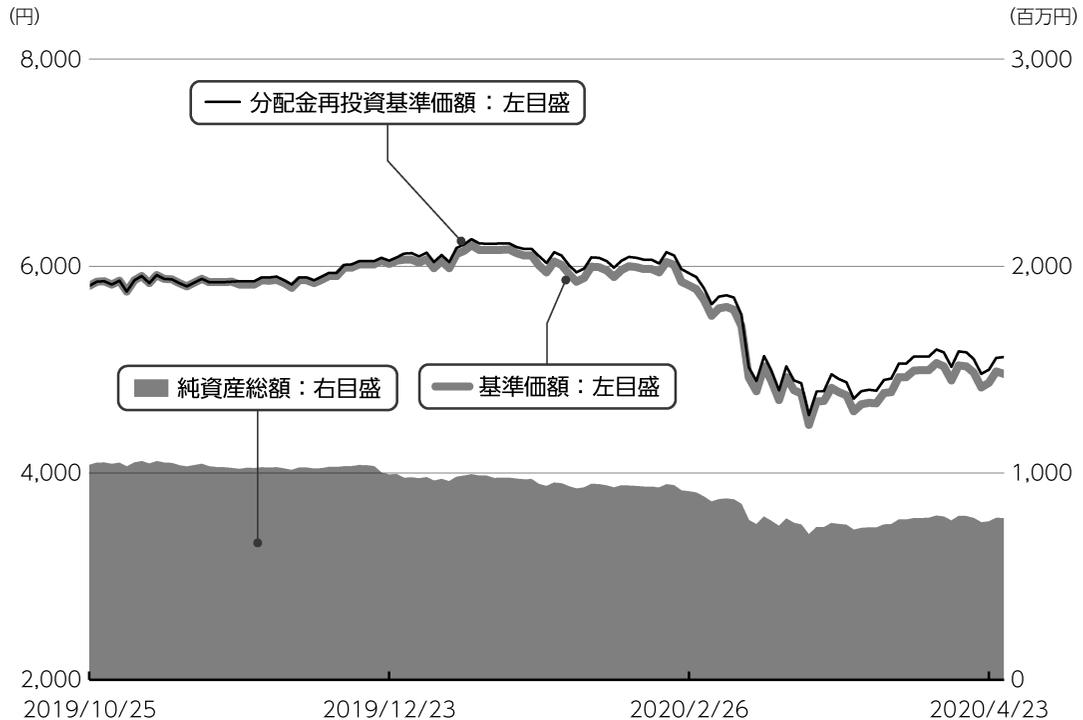
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第77期～第82期：2019年10月26日～2020年4月27日

▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第77期首	5,808円
第82期末	4,958円
既払分配金	180円
騰落率	-11.8%
	(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ11.8%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

債券の利子収益を享受したことやロシア金利が低下したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

ロシアルーブルが対円で下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。

第77期～第82期：2019年10月26日～2020年4月27日

投資環境について

▶ 債券市況

ロシアの債券市場では、短期ゾーンの金利は低下しました。

インフレ率が中央銀行の目標値を下回っていることなどから、ロシア中央銀行が複数回利下げを実施し、ロシア金利は2020年2月半ばにかけて低下基調で推移しました。その後、新型コロナウイルス感染拡大により、世界的に保有資産の資金化の動きが強まったことなどから、ロシア金利は3月半ばにかけて急上昇したものの、作成期末にかけては主要国の政

府・中央銀行による政策対応やロシア中央銀行総裁による大幅な利下げの示唆などから大きく低下しました。

▶ 為替市況

ロシアルーブルは対円で下落しました。

ロシアルーブルは、2020年2月中旬にかけて対円で概ね横ばいで推移したものの、その後新型コロナウイルスの感染拡大による投資家のリスクセンチメントの悪化や原油価格の下落などを背景に、作成期末にかけて下落しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

▶ 短期ロシアルーブル債オープン（毎月分配型）

短期ロシアルーブル債マザーファンド受益証券への投資を通じてロシアルーブル建ての短期公社債に実質的な投資をしました。

▶ 短期ロシアルーブル債マザーファンド

ロシアルーブル建ての短期公社債に投資を行い、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざして運用を行い、作成期を通じて債券現物の組入比率は高位を維持しました。

種別構成については、作成期を通じて残存期間3年以内の国債を中心に組み入れました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第77期 2019年10月26日～ 2019年11月25日	第78期 2019年11月26日～ 2019年12月25日	第79期 2019年12月26日～ 2020年1月27日	第80期 2020年1月28日～ 2020年2月25日	第81期 2020年2月26日～ 2020年3月25日	第82期 2020年3月26日～ 2020年4月27日
当期分配金 （対基準価額比率）	30 (0.512%)	30 (0.493%)	30 (0.497%)	30 (0.510%)	30 (0.618%)	30 (0.601%)
当期の収益	30	30	29	24	20	28
当期の収益以外	－	－	0	5	9	1
翌期繰越分配対象額	2,531	2,536	2,535	2,530	2,521	2,519

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

▶ 短期ロシアルーブル債オープン（毎月分配型）

短期ロシアルーブル債マザーファンド受益証券の組入比率を高位とする方針です。

▶ 短期ロシアルーブル債マザーファンド組入比率

安定した利子収益の確保をめざし、高位組み入れを継続する方針です。

種別構成

当面は残存期間3年以内の国債での運用を行う方針です。

2019年10月26日～2020年4月27日

1万口当たりの費用明細

項目	第77期～第82期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	39	0.694	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(16)	(0.280)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(22)	(0.392)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0.022)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	1	0.012	(b) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.010)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合計	40	0.706	

作成期中の平均基準価額は、5,614円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

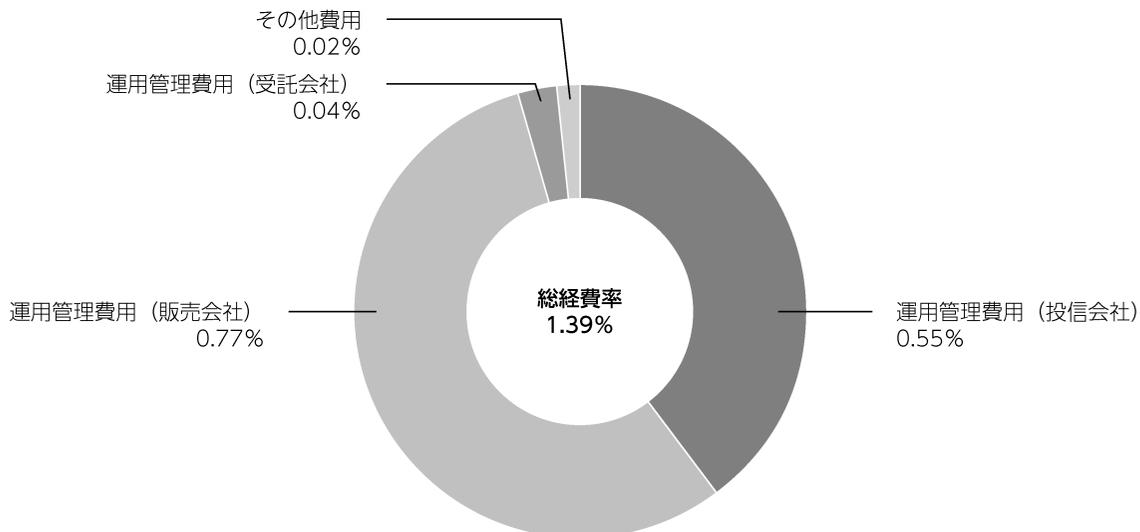
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成中の平均受益権口数に作成中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.39%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2019年10月26日～2020年4月27日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第77期～第82期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
短期ロシアルーブル債マザーファンド	千口 41,431	千円 37,331	千口 205,151	千円 199,835

○利害関係人との取引状況等

(2019年10月26日～2020年4月27日)

利害関係人との取引状況

<短期ロシアルーブル債オープン（毎月分配型）>

該当事項はございません。

<短期ロシアルーブル債マザーファンド>

区 分	第77期～第82期					
	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	B A	うち利害関係人 との取引状況D	D C		
為替直物取引	百万円 226	百万円 —	百万円 —	百万円 389	百万円 5	百万円 1.3

平均保有割合 100.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ信託銀行です。

○組入資産の明細

(2020年4月27日現在)

親投資信託残高

銘 柄	第76期末		第82期末	
	口 数	評 価 額	口 数	評 価 額
	千口	千円	千口	千円
短期ロシアルーブル債マザーファンド	1,075,827	912,106	780,216	

○投資信託財産の構成

(2020年4月27日現在)

項 目	第82期末	
	評 価 額	比 率
短期ロシアルーブル債マザーファンド	千円 780,216	% 98.7
コール・ローン等、その他	10,110	1.3
投資信託財産総額	790,326	100.0

(注) 短期ロシアルーブル債マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産（776,152千円）の投資信託財産総額（785,253千円）に対する比率は98.8%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=107.60円	1 ロシアルーブル=1.44円		
------------------	-----------------	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第77期末	第78期末	第79期末	第80期末	第81期末	第82期末
	2019年11月25日現在	2019年12月25日現在	2020年1月27日現在	2020年2月25日現在	2020年3月25日現在	2020年4月27日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	1,031,155,742	1,010,085,560	961,454,704	922,039,208	766,420,059	790,326,078
コール・ローン等	3,654,770	4,038,991	5,925,449	3,807,259	4,021,661	5,029,473
短期ロシアルーブル債マザーファンド(評価額)	1,017,429,671	974,268,911	944,456,872	913,652,088	756,614,480	780,216,032
未収入金	10,071,301	31,777,658	11,072,383	4,579,861	5,783,918	5,080,573
(B) 負債	11,303,024	33,473,430	14,709,164	6,059,492	8,000,195	8,220,416
未払収益分配金	5,253,790	4,834,633	4,728,150	4,696,684	4,715,195	4,732,289
未払解約金	4,843,064	27,491,415	8,774,292	344,715	2,412,702	2,537,424
未払信託報酬	1,202,108	1,143,515	1,202,656	1,014,667	869,361	947,499
未払利息	3	6	2	1	2	6
その他未払費用	4,059	3,861	4,064	3,425	2,935	3,198
(C) 純資産総額(A-B)	1,019,852,718	976,612,130	946,745,540	915,979,716	758,419,864	782,105,662
元本	1,751,263,397	1,611,544,347	1,576,050,227	1,565,561,564	1,571,731,965	1,577,429,667
次期繰越損益金	△ 731,410,679	△ 634,932,217	△ 629,304,687	△ 649,581,848	△ 813,312,101	△ 795,324,005
(D) 受益権総口数	1,751,263,397口	1,611,544,347口	1,576,050,227口	1,565,561,564口	1,571,731,965口	1,577,429,667口
1万口当たり基準価額(C/D)	5,824円	6,060円	6,007円	5,851円	4,825円	4,958円

○損益の状況

項 目	第77期	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期
	2019年10月26日～ 2019年11月25日	2019年11月26日～ 2019年12月25日	2019年12月26日～ 2020年1月27日	2020年1月28日～ 2020年2月25日	2020年2月26日～ 2020年3月25日	2020年3月26日～ 2020年4月27日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 169	△ 87	△ 143	△ 26	△ 123	△ 77
受取利息	—	3	—	1	—	5
支払利息	△ 169	△ 90	△ 143	△ 27	△ 123	△ 82
(B) 有価証券売買損益	9,180,974	43,996,285	△ 2,514,452	△ 18,722,231	△ 153,037,712	26,416,735
売買益	9,508,363	46,618,303	356,845	82,659	2,307,261	26,938,466
売買損	△ 327,389	△ 2,622,018	△ 2,871,297	△ 18,804,890	△ 155,344,973	△ 521,731
(C) 信託報酬等	△ 1,206,167	△ 1,147,376	△ 1,206,720	△ 1,018,092	△ 872,296	△ 950,697
(D) 当期損益金(A+B+C)	7,974,638	42,848,822	△ 3,721,315	△ 19,740,349	△ 153,910,131	25,465,961
(E) 前期繰越損益金	△ 44,076,349	△ 37,615,899	384,340	△ 7,941,679	△ 31,704,507	△ 187,009,595
(F) 追加信託差損益金	△ 690,055,178	△ 635,330,507	△ 621,239,562	△ 617,203,136	△ 622,982,268	△ 629,048,082
(配当等相当額)	(401,802,809)	(370,220,325)	(362,600,862)	(360,550,703)	(362,871,637)	(364,970,240)
(売買損益相当額)	(△1,091,857,987)	(△1,005,550,832)	(△983,840,424)	(△977,753,839)	(△985,853,905)	(△994,018,322)
(G) 計(D+E+F)	△ 726,156,889	△ 630,097,584	△ 624,576,537	△ 644,885,164	△ 808,596,906	△ 790,591,716
(H) 収益分配金	△ 5,253,790	△ 4,834,633	△ 4,728,150	△ 4,696,684	△ 4,715,195	△ 4,732,289
次期繰越損益金(G+H)	△ 731,410,679	△ 634,932,217	△ 629,304,687	△ 649,581,848	△ 813,312,101	△ 795,324,005
追加信託差損益金	△ 690,055,178	△ 635,330,507	△ 621,239,562	△ 617,203,136	△ 622,982,268	△ 629,048,082
(配当等相当額)	(401,838,006)	(370,254,053)	(362,643,765)	(360,570,127)	(362,951,661)	(365,026,831)
(売買損益相当額)	(△1,091,893,184)	(△1,005,584,560)	(△983,883,327)	(△977,773,263)	(△985,933,929)	(△994,074,913)
分配準備積立金	41,413,099	38,527,653	37,021,480	35,565,554	33,367,635	32,479,338
繰越損益金	△ 82,768,600	△ 38,129,363	△ 45,086,605	△ 67,944,266	△ 223,697,468	△ 198,755,261

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ①作成期首（前作成期末）元本額 1,789,382,342円
 作成期中追加設定元本額 145,680,291円
 作成期中一部解約元本額 357,632,966円
 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.4958円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は795,324,005円です。

③分配金の計算過程

項 目	2019年10月26日～ 2019年11月25日	2019年11月26日～ 2019年12月25日	2019年12月26日～ 2020年1月27日	2020年1月28日～ 2020年2月25日	2020年2月26日～ 2020年3月25日	2020年3月26日～ 2020年4月27日
費用控除後の配当等収益額	5,426,302円	5,694,004円	4,571,715円	3,807,433円	3,257,841円	4,426,081円
費用控除後・繰越大損金補填後の有価証券売買等損益額	—円	—円	—円	—円	—円	—円
収益調整金額	401,838,006円	370,254,053円	362,643,765円	360,570,127円	362,951,661円	365,026,831円
分配準備積立金額	41,240,587円	37,668,282円	37,177,915円	36,454,805円	34,824,989円	32,785,546円
当ファンドの分配対象収益額	448,504,895円	413,616,339円	404,393,395円	400,832,365円	401,034,491円	402,238,458円
1万口当たり収益分配対象額	2,561円	2,566円	2,565円	2,560円	2,551円	2,549円
1万口当たり分配金額	30円	30円	30円	30円	30円	30円
収益分配金金額	5,253,790円	4,834,633円	4,728,150円	4,696,684円	4,715,195円	4,732,289円

○分配金のお知らせ

	第77期	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期
1万口当たり分配金（税込み）	30円	30円	30円	30円	30円	30円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。
- ・2020年1月1日以降の分配時において、外国税控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほか、当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

短期ロシアルーブル債マザーファンド

《第14期》決算日2020年4月27日

[計算期間：2019年10月26日～2020年4月27日]

「短期ロシアルーブル債マザーファンド」は、4月27日に第14期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第14期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	<p>ロシアルーブル建ての短期公社債を主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。</p> <p>投資にあたっては、ロシアの国債、政府機関債等ならびにロシアルーブル建ての国際機関債に投資を行います。</p> <p>投資する公社債の残存年数は3年未満とします。</p> <p>金利や物価の動向、経済情勢や投資環境等を勘案してポートフォリオを構築します。</p> <p>デュレーション調整等のため、債券先物取引等を利用する場合があります。</p> <p>組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>
主 要 運 用 対 象	ロシアルーブル建ての短期公社債を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率			
	円		%	%	%	百万円
10期(2018年4月25日)	8,904	△	6.3	92.1	—	1,269
11期(2018年10月25日)	8,754	△	1.7	94.3	—	1,089
12期(2019年4月25日)	9,335		6.6	95.2	—	1,090
13期(2019年10月25日)	9,636		3.2	95.0	—	1,036
14期(2020年4月27日)	8,554	△	11.2	92.8	—	780

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年	月	日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
				騰	落			
	(期 首)	2019年10月25日	円 9,636		% —		% 95.0	% —
	10月末		9,721		0.9		94.8	—
	11月末		9,784		1.5		95.3	—
	12月末		10,197		5.8		91.4	—
	2020年1月末		10,008		3.9		93.7	—
	2月末		9,646		0.1		94.8	—
	3月末		7,990		△17.1		93.3	—
	(期 末)	2020年4月27日	8,554		△11.2		92.8	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

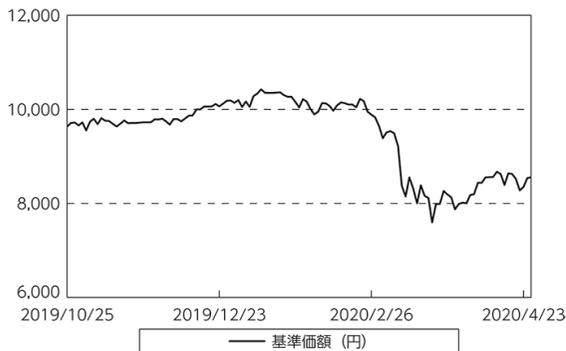
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ11.2%の下落となりました。

基準価額等の推移



●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

債券の利子収益を享受したことやロシア金利が低下したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

(下落要因)

ロシアルーブルが対円で下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。

●投資環境について

◎債券市況

- ・ロシアの債券市場では、短期ゾーンの金利は低下しました。
- ・インフレ率が中央銀行の目標値を下回っていることなどから、ロシア中央銀行が複数回利下げを実施し、ロシア金利は2020年2月半ばにかけて低下基調で推移しました。その後、新型コロナウイルス感染拡大により、世界的に保有資産の資金化の動きが強まったことなどから、ロシア金利は3月半ばにかけて急上昇したものの、期末にかけては主要国の政府・中央銀行による政策対応やロシア中央銀行総裁による大幅な利下げの示唆などから大きく低下しました。

◎為替市況

- ・ロシアルーブルは対円で下落しました。
- ・ロシアルーブルは、2020年2月中旬にかけて対円で概ね横ばいで推移したものの、その後新型コロナウイルスの感染拡大による投資家のリスクセンチメントの悪化や原油価格の下落などを背景に、期末にかけて下落しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・ロシアルーブル建ての短期公社債に投資を行い、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざして運用を行い、期を通じて債券現物の組入比率は高位を維持しました。
- ・種別構成については、期を通じて残存期間3年以内の国債を中心に組み入れました。

○今後の運用方針

(組入比率)

- ・安定した利子収益の確保をめざし、高位組み入れを継続する方針です。

(種別構成)

- ・当面は残存期間3年以内の国債での運用を行う方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2019年10月26日～2020年4月27日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	円 1 (1)	% 0.010 (0.010)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
合 計	1	0.010	
期中の平均基準価額は、9,466円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2019年10月26日～2020年4月27日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	ロシア	国債証券	千ロシアルーブル 68,200	千ロシアルーブル 82,265
		特殊債券	—	— (65,000)

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ()内は償還等による増減分です。

○利害関係人との取引状況等

(2019年10月26日～2020年4月27日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
為替直物取引	百万円 —	% —		百万円 389	百万円 5	% 1.3

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ信託銀行です。

○組入資産の明細

(2020年4月27日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千ロシアルーブル	千ロシアルーブル	千円	%	%	%	%	%
ロシア	485,000	502,679	723,858	92.8	—	—	41.6	51.2
合 計	485,000	502,679	723,858	92.8	—	—	41.6	51.2

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄			当 期 末				償還年月日
			利 率	額面金額	評 価 額		
					外貨建金額	邦貨換算金額	
		%	千ロシアルーブル	千ロシアルーブル	千円		
ロシア	国債証券	7 RUSSIA OFZ 211215	7.0	190,000	194,951	280,730	2021/12/15
		7.4 RUSSIA OFZ 221207	7.4	65,000	68,281	98,325	2022/12/7
		7.5 RUSSIA OFZ 210818	7.5	80,000	82,317	118,537	2021/8/18
		7.6 RUSSIA GOVT 220720	7.6	150,000	157,128	226,265	2022/7/20
合 計					723,858		

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2020年4月27日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	723,858	92.2
コール・ローン等、その他	61,395	7.8
投資信託財産総額	785,253	100.0

(注) 期末における外貨建純資産(776,152千円)の投資信託財産総額(785,253千円)に対する比率は98.8%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=107.60円	1 ロシアルーブル=1.44円
------------------	-----------------

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年4月27日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	785,253,427
コール・ローン等	45,975,191
公社債(評価額)	723,858,624
未収利息	14,508,884
前払費用	910,728
(B) 負債	5,080,584
未払解約金	5,080,573
未払利息	11
(C) 純資産総額(A-B)	780,172,843
元本	912,106,655
次期繰越損益金	△131,933,812
(D) 受益権総口数	912,106,655口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,554円

<注記事項>

- ①期首元本額 1,075,827,021円
 期中追加設定元本額 41,431,235円
 期中一部解約元本額 205,151,601円
 また、1口当たり純資産額は、期末0.8554円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

短期ロシアルーブル債オープン(毎月分配型) 912,106,655円

③純資産総額が元本額を下回っており、その差額は131,933,812円です。

○損益の状況 (2019年10月26日～2020年4月27日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	28,657,379
受取利息	28,659,340
支払利息	△ 1,961
(B) 有価証券売買損益	△122,573,282
売買益	14,709,045
売買損	△137,282,327
(C) 保管費用等	△ 91,067
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 94,006,970
(E) 前期繰越損益金	△ 39,143,198
(F) 追加信託差損益金	△ 4,100,049
(G) 解約差損益金	5,316,405
(H) 計(D+E+F+G)	△131,933,812
次期繰越損益金(H)	△131,933,812

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。